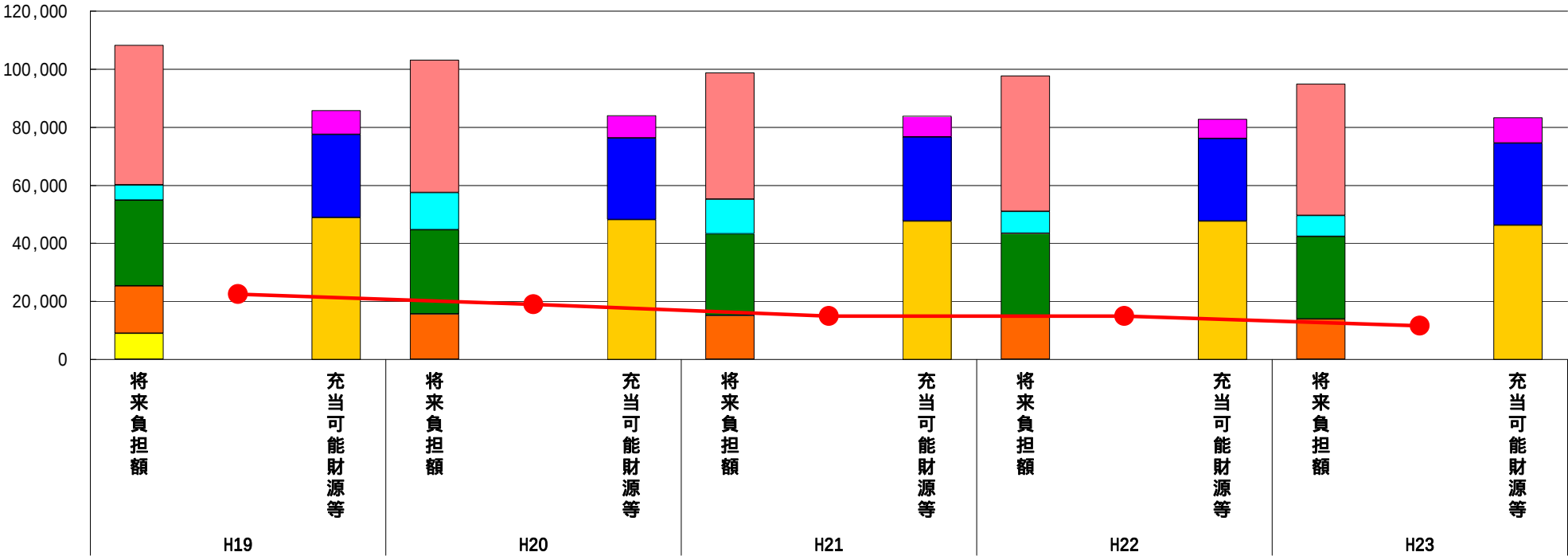


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）
（百万円）

平成23年度

神奈川県鎌倉市



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		48,125	45,591	43,733	46,618	45,368
	債務負担行為に基づく支出予定額		5,330	12,894	11,841	7,705	7,113
	公営企業債等繰入見込額		29,569	28,958	28,151	28,697	28,488
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		16,340	15,608	15,092	14,620	13,900
	設立法人等の負債額等負担見込額		8,913	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		8,266	7,805	7,275	6,648	8,795
	充当可能特定歳入		28,648	28,043	28,861	28,531	28,284
	基準財政需要額算入見込額		48,882	48,192	47,682	47,588	46,266
(A) - (B)		将来負担比率の分子	22,483	19,009	15,000	14,873	11,523

分析欄

将来負担額については、高利債の償還が進んでいることから一般会計等に係る地方債の現在高が減額となっており、土地開発公社健全化計画に沿った公共事業用地買収費を実施しているため、債務負担行為に基づく支出予定額も減額しており、また、鎌倉市第二次職員数適正化計画の進捗により退職手当負担見込額が減額しているため、約27.7億円の減額となっている。

充当可能財源等については、財政調整基金残高が増額したことにより充当可能基金が増額したことから、約5.8億円の増額となっている。

よって、将来負担比率の分子は33.5億円の減となっている。

平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。